

二宮町町民活動推進委員会 第4回議事録

日 時：平成26年8月29日（金） 19：00～20：30

場 所：二宮町役場2階 第1会議室

出席者：高橋委員長・手塚副委員長・菅澤委員・澁澤委員
山口委員・筑紫委員

欠席者：・松本委員・大河原委員・吉見委員・松本委員

事務局：・西山課長・二宮班長・鳥海主任主事

傍聴者：なし

○委員長あいさつ

本日は、4名の委員が都合で欠席されております。まだ、残暑天候不順の中でご出席いただきありがとうございます。議題に沿って議論をしっかり進めたいと存じます。

○事務局より

議事録署名人：高橋委員長と澁澤委員にお願いします。

本日の会議は、8時30分には終えたいとお思います。

○傍聴希望者は、なし

○議題1「平成27年度の補助金制度について」を事務局より説明

事務局：今後のスケジュールを先に説明させていただきます。

今回、第4回で、問題点を議論いただき、補助金申請に反映したものをまとめ次の第5回で案を示し、修正や内容確認をして、来年度補助金の申請や広報活動を進めていく予定です。

委員長：問題点ということで、資料1、問題点1から6までを順番に議論をお願いします。

まずは、問題点1「活動団体補助金制度について」について、活発なご意見をお願いします。

委員：補助対象事業の間口を広くするという方向性は、これからのステップとして重要かと思う。団体をつくるということを明確にした団体には、申請をだしたらとりあえず1回は補助をするような気持ちがあるとよい、公金を使っているので、補助が終わる頃には活動や会計処理がしっかりできるような団体にしていくことも重要と考える。

しかし、行政の主催している補助金でそのような制度のものはほとんどない。二宮らしい制度を形作っていく事が良いと思うが、各団体をどうやって育てるのかの仕組づくりの検討も必要になってくる。

ステップアップとして、補助を受けた団体が次年度に申請書などの書類を作成で

きることや、団体の規約の明確化、会計の処理など組織の基盤がしっかりした団体を作ることを主な目的にすると良いと思う。

補助金額も間口を広げる際には1団体に3万や1万に抑えるのも良いと思います。

委員長：考え方としては、良いかと思うし、二宮町の風土に合う部分もあると思う。

各団体は、踏襲された団体であってほしい。

委員：サポートセンターが、団体を支援することを前提として考える必要がある。書類の作り方、お金の使い方、物の買い方などを含めてしっかりと教育していく拠点として必要である。

団体が補助金を使って活動する時には、領収書をしっかり取っておくことや、どんな活動するのかについてのアドバイスができる環境をサポートセンターにつくり、補助金を活用して事業をするなかで、しっかりとした団体を作っていくしてほしい。

委員：町民活動につながるチャンスが一杯あり、それが次のステップに繋げるようにサポートすることが必要。そのために、町民活動やボランティア活動またその関連情報に関わりやすい場所としてサポートセンターがあるので、団体の主体性を損なわないように注意しながら意欲を育むような支援をサポートセンターができるようにしてほしい。

委員長：折角あるサポートセンターを活用して繋げて広げて大きな活動にしていきたい。

サポートセンターに行けばどんな活動団体があるのか聞けるようにしたい。

活動に繋がるような講座や教室などが足りないと感じている。

やってみようかと思えるような機会やその意気込みの受け皿となる場所の環境づくりをしっかりと構築することは大切だと思います。

委員長：それには、無償の活動には限界がある。

行政や事業者との連携した活動。

町民活動推進委員がきっかけを与えて活動が広がっていくのも良いと思う。

ボランティア活動の自主性が期待されている。

委員：行政と団体との連携で、平成27年度から介護保険法が大きく変わり、町の負担が大きく増えると思われる。

他の団体や自治体などと話した際に、その事についてどう対応していくのかを質問したら、ボランティアを中心とした見守り型と専門職員が見守る福祉有償型の施設、現状の介護保険の3つを利用して、要支援の方と予防介護の方を合体させていくことを考えている。

介護になると有償の専門職員がいるが、予防介護や要支援などの若干支援が必要な方への見守りは、ボランティアの活動が中心になるとの意見が多かった。しかし、市民活動を支援する立場としては、ボランティアの活動にも費用が掛かるのに、ボランティア団体への費用の支援体制を確立しないで、活動させるのは、やめて欲しいと伝えました。

ボランティア団体の活動のためには、サービス利用者の費用負担と、町から利

用料一部助成などで利用者負担の軽減をはかり利用者の増加を図る体制が必要になる。

補助金を今後どのようにしていくかについては、先ほどの介護保険の問題や孤独死などの社会的課題があるが、活動を始めようとする人が自らその課題に対応する活動を始めるには限界があるので、町からその課題に対応する活動の促進をするように補助金を変えていく事も良いかと思う。

例えば、空き家対策のため、空き家を活用する活動を募集、その活動については他の事業より補助を優遇するなどの制度を導入することです。

さらに申請を促すために申請を簡略化し、最初の1年間は活動や自主的な企画をしていく中で、組織の運営方法を学んでもらい、そこから他の団体や企業と協力、または自治体との協働的な活動へつなげる支援を組み合わせることで活動に幅を持たせるようにしていくと発展があると思う。

委員：有償か無償については、生命や財産に関わる所は無償でサービス提供しては、だめだと考えている。責任が発生することを考慮したうえでボランティア活動ができていれば良いが、そうでない場合は将来的に継続が困難になると思う。

委員長：二宮町では、社会福祉協議会が主体となって見守りネットワーク活動を取り上げており、高齢者の見守りや対策なども課題となっている。地域全体で居場所づくりから生活支援の活動など実施している。経費としては、最低限度の費用をいただいて活動している。サロンなどの活動もその一環で実施している。

委員：社会福祉協議会の見守り活動は大切な活動である。

学童についても公営学童と民営学童について住み分けで悩みが出たと思う。

同じように社会福祉協議会のふれあいサロンとこれから増えそうな民間のふれあいサロンが出来た際にも民間ができたから公営のサロンを辞めてよいのか、民間で対応できない人がいたらどうしたら良いかを検討する必要もある。

委員：需要と供給の問題になってきますね。

社会福祉協議会の活動と町民活動の住み分けは、できているのですか。

委員長：住み分けはできていないと思う。

需要と供給の問題は、この時期に議論するよりも実際に活動が活発になってきた際に検討すればよいかと思う。

委員長：有償としては、歌の団体では講師の費用、翻訳の団体でも先生に対しては謝礼を渡して活動していると思う。それでも継続活動していくには厳しいと感じている。

委員：林の整備をしている団体は、有償と思われる。機械の運用や整備費用を考えると必要経費分を依頼者に負担としてもらっている。

有償のあるべき姿、倫理観を明確にしないと育たないと思う。

委員：有償の考えとして、必要な経費分の費用を貰うのは、ボランティアだとしても当然だと思う。活動している人への謝礼のような費用が発生するかどうか有償の考

えであり、そこの部分についてこそあるべき姿や倫理観を明確にすべき部分です。
受益者負担は、必要だと思われるが、どの程度負担をするのか

委員：高齢者への支援の中でもシルバー人材センターなどは、1人でも活動できる人は積極的に働き、費用もそれなりに貰う。社協の活動は、経済的に厳しい方へのサービスを提供する事で支援をしている。その中間点と考えられる町民活動団体は、大変かと思うので、補助金などを使って、その活動を支援することも良いかと思う。

委員：補助金をもらっても、受益者負担は必要だと思う。立ち上げ直後には、無料体験などへ補助金を充てて利用者の増加を図ることに利用し、その後は、利用者から適切な負担金を取る事で自立した活動の継続に繋げる必要がある。補助金を運営継続費に充ててしまうと補助金が無くなった段階で活動が終わってしまう。

今年の団体の一つは、消耗品に補助金を充てている比重が多く、活動に必須の備品を購入したりなどはしていなかったもので、継続した活動に繋げるには、この辺りの調整も必要と考える。

委員長：同じような活動でも値段や活動の質が違うものがあることで、町民は選ぶことができる。人柄に応じて活動が求められるので、その辺りは競合しても良いと思う。今後の団体の活動の中で、この活動は、有償で良いとどの様に判断していくのかは、広めていくにあたり課題になる。

委員：シルバー人材センターと社協の関係を町民が認知をして、サービスの違いや互いに手が出せない所を補完し合うような関係を保って全体的に発展できると良い。

委員：意識的に二宮町を作っていくにあたっては、補助の対象団体を広くすることは良いとして、もう一つ、町民が協働してまちづくりに協力していく事を考えた際に、福祉の問題が大きな課題になっている。社協にやってもらいたいこと、シルバー人材センターでやってもらいたいことありますが、包括的に見たら不十分な部分があるかもしれない、その時にどうやってネットワークを広げていくかを考えると、補助金を使い町民活動を活用して、意識的に活動の活性化を図る事が必要かと思う。

平成27年度の介護保険制度だけでみても、その先の課題も見えてきているので、見直す時期には来ていると思う。

町、社協、その他機関がやれることを明確にしてしっかり対応する。そこに民間が事業として参入してくるのも良いかと思う。最終的に、町民のニーズを拾うこととなるので、そこにいくためのきっかけにこの制度が活用できればと思う。

委員：自治体では少ないですが、財団系の補助金ではテーマ型の補助金がある。全体的な募集ではなく、今後町として重要となる課題にたいする町民活動にたいして、例えば10ある枠の内2枠を割り当て採択するものもある。

福祉や防災、就労支援など最近ではテーマとして取り上げられている。

県や市では、オールマイティな補助なのでなかなかやらない、町としてコンパクト

に考えたとして、政策的にここに重点するというような一枠別枠で取っていくのも良いかと思う。協働事業でテーマ型的な補助をしている事例はあるが、補助金事業で実施しているところが無い。但し、補助をするにあたり関係課の事業にも配慮すると良い。

委員長：テーマ型などについて、協働提案としてこの事業について手を挙げる方法も一つの案である。

行政が課題にたいする活動募集の声を出すという事に、町民は関心を持っている、また、その声により活動することは団体にとってとてもやる気がでる。

委員：参加を考えている人も、募集の声掛けが大枠過ぎるとどうしたら良いか分からなくなるので、絞る事で何をしたらよいか明確にでき、参加し易くなる面もある。

委員長：協働提案型、テーマとしては、介護保険制度が変わって要支援がなくなり市町村に移行します。制度移行にあわせた生活をしていかないといけない。行政も町民活動について、このことについて声をあげて募集する事で町民も方も活動に参加して来ると考える。

委員：二宮町のように顔が見える関係だからこそできるやり方だと思う。どんなことに依頼が多いのかなどピンポイントで把握する事ができる。

ぜひ、検討してほしい。

委員：地域を作っていくにあたり、新しい公共を作れるようによろしくお願いします。

問題点2 補助金の周知期間の改善

事務局：問題点2では、募集期間と周知期間を延ばした方が良いとのことに対して、今回の募集に関して、周知期間は、12月下旬を12月初旬とすることを考えると推進委員会の会議も前倒しを考えている。

また、周知期間は早める予定ですが、書類の提出期間は例年通りで良いかと考えております。

問題点3 申請団体の増加や団体の実績報告等の場への参加者数改善について

事務局：社会福祉協議会への張り出し、地区の老人憩いの家などの公共施設への張り出しをする予定。またタウンニュースへの声掛けをし、駅の町広報板へも掲示をする予定。

事務局：申請時の公開プレゼンテーション、実績報告会の両方で傍聴者の増加を促すためにも日程の周知を早くして、興味がある方の目につくようにしたい。

企業との繋がりへ発展する事を期待して、商工会議所へも呼びかけを知る事を検討しています。

委員長：団体からの出席者も発表者しかいない状況ではとても残念。

発表団体の方や補助候補の団体の方が発表を聞くことで、期待感や達成感を共有でき、発表団体の認知度向上や町民活動の広がりが期待できる。

委員：過去に補助を受けた団体に通知を出して参加を促すなど積極的な活動が必要では

ないか。

委員：見に来る人や団体にとって何らかのメリットが無いと来ないことから、発表の機会に併せて他の補助金等の説明会開催をすることで、その説明会の資料を持って帰る事ができる。企業への働きかけとしても、がんばっている町民活動団体に対して、協力して寄付をうけて、参加者にボールペン1本でも配るなど仕掛けが必要。企業に対しても、地域貢献の活動を発表する機会とするなど、企業にもその活動が広報になったりすることによるメリットがあるような状況にもっていくと良いのでは。更に進むなら、CSI活動（地域貢献活動）について、表彰をする機会にするなども考えられる。そういうちょっとしたことと併せないと人が来ない。

問題点4 町民活動推進事業に対する町民の認知度や理解を高める。

事務局：広報やHPの更新やサポートセンターの活用程度。

委員：生涯学習課などの行政の中で関わっている、いろいろな団体への声掛けは、どうなっている。

事務局：町内の各部署が集まる会議で各課へ、補助金の周知と活用の声かけをしている。

また、生涯学習課に対しては個別に声掛けをしている。過去に協力であったのは企画や生涯学習課が関係する男女共同参画のようなものもある。

委員：生涯学習課の関係する団体には、有志でやっているものが多いので、その団体があがってくると、町民活動もにぎやかになってくると思う。

今後のまちづくりのためにも、周知の方法をしっかりと考えて欲しい。

（町としての町民参加活動の具体的活動計画中期計画等を再度確認し、広報する）について

委員長：町民参加活動の中期計画を再度見直しの部分、ボランティア活動は自由闊達であり、拘束性が無いところに一つの意義があると思いますが、まちづくりであっても活動計画で第1段階、第2段階と定めてしまうのは束縛してしまうのではないか。

委員：二宮町のこの補助金そのものが、町の方針に沿っている活動であることが前提に補助をする制度になっている。よって、町の計画に沿ったものになりやすい。

町が考えている方向と完全に相反する活動が補助事業として認められるのかに関しては、評価に町の方針に沿っているかという項目があるので、補助事業として認められることは難しいです。

ただし、それはそれで良い部分ともいえる、だからこそ顔の見える関係の中で先ほど出ていたテーマ型であれ、誰でも良いよと補助対象の間口を広げたとしても町の方針とあっている事が前提となることを考慮すると、良い部分だと思う。

計画的に梯子をあげるような考え方も仕方ないかなと考えている。

委員：この意見を出しましたが、計画そのものが良い悪いではなく、条例制定後に事業を5年10年実施していくと成果が出てくると思います。事業の広がりや、積み重ねてきたことが、まちづくりにどの様に活かされているのかを把握評価して、ここから更にステップアップするために現状にあった制度の修正や計画の見直しをして

いく事で事業の厚みが増していくと考えていて、この事業が実際そういう一定の流れで修正が図られているのかという事を出した意見です。

委員長：まちづくり行政評価委員会がありますが、そこで第三者評価されていると思います。その辺りはどうなのか？

事務局：町の総合計画を行政評価委員会が評価して修正をしてくが、この中に実施計画などがあり、そこでボランティアに関する事や町民活動に関する事、いくつかの項目で位置づけられている。実施計画の中で進捗状況などが管理されている。町民活動推進事業を一つの事業として計画は作っていないが、総合計画の一つとして管理されている。

事業評価は、職員が個々の事業を評価した後に評価委員会が確認をする形で管理されている。

委員：評価をする指標が上手く合っていれば、どんどん伸びていけば発展していく。

評価の軸が分かれば、どこに力を入れていけば良いのかが分かる。

評価軸、指標は、どのような項目でとっていますか？

事務局：評価としては、妥当性、有効性、効率性と若干の費用をみて評価している。

客観的に全体をみて評価をしている。

事業課が A～D で評価をしたものを正しいのかなどを上管理職が評価をしていく。C 評価で事業見直し、D で事業中止の評価がだされる。事業が幾つか集まりが施策となる。施策の集まりが全体的な評価となる。

最初は、担当課で A～D を自己評価して、それを上の階級が順々に評価していき、最終の評価をするのが評価委員会となる。ただし、一つ一つの事業は見ず、全体的な事業として評価をしてもらっている。

委員長：町民の目に見えにくい活動の評価や認知度の向上をどう進めていくかについて議論が尽くせませんが、今度とも改善を図っていきましょう。

委員：地味だけど、町民が色々な活動に参加する事はとても大事な要因なので、そのことについて周知や評価をして欲しい。

問題点 5 町民活動サポートセンターの活用

事務局：委員の意見として、相談会を開いていく事が挙げられているが、現在の配備職員のスキルでは、職員が対応する事がむずかしいので、講師や相談員を呼んで活用や団体の支援を考えている。意見交換や団体の活用できる場行の提供ができるようにする。

問題点 6 町民活動サポートセンターの機能強化

事務局：まちづくり推進員がこの会議などを聴く機会を作る事も検討したいと考える。補助団体への現地視察も参加を検討したいです。

委員：出張相談会を二宮町で実施した時に同席して聞いてよいですか？という意気込みのある職員もいたので、活用してほしい。また、ボランティア活動を経験された方を採用することでも良くなっていくと思います。

委員長：問題点5と6については、スタッフのフォローアップや講座の開催、町民の方がこれなら自分でもできると思えるような支援ができる状況にしたいところです。

委員長：議題1の補助金制度については、ある程度事務局でまとめて、次回会議で調整する事をお願いしたいと思います。

資料2について、現地確認について事務局より説明

新しい二宮・イメージプロジェクトについて、手塚委員と菅澤委員に参加をお願いします。

3、その他

次回開催日について、当初予定では、12月でしたが周知の早期化のため11月上旬から中旬で開催したいと思いますので、よろしくをお願いします。

議事録署名人 _____

議事録署名人 _____